

京丹後市老人クラブ連合会だより

あいさい

第24号

2021.6発行



毎年5月、峰山町小西川沿いに泳ぐ鯉のぼり

主 な 内 容

ごあいさつ	2
令和3年度市老連会長表彰	3
令和3年度京丹後市老人クラブ連合会 役員名簿	4
令和2年度 事業報告	9
令和3年度 事業計画	11
老人クラブを復活	13
投稿コーナー	14

コロナウイルスの一日も早い収束を



京丹後市老人クラブ連合会

会長 森 口 茂 樹

会員の皆さま、お元気でお過ごしですか。
令和2年度も終わり、コロナウイルスの収束を見ることなく、新年度がスタートしました。

各会員の皆さまは、青空の下、手足を広げ運動をしていますか。
コロナ禍の中で、家の中に閉じこもっていますと体力が衰えます。フレイルにならないよう、3密を守りながら楽しい日々を送ってください。フレイルとは、健康な状態と、要介護状態の間の虚弱状態のことを言います

さて、今年度の評議員会も昨年同様、コロナウイルスの感染防止を図るため、また新たな変異ウイルスの急速な拡大に鑑み、書面によるものとさせていただきます。コロナウイルスの状況を見ながら各事業を進めていきたいと思ひますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

一日も早く、青空の下で、運動が出来る日が来ますようお願いしております。

老人クラブでは、こんな活動をしています。スポーツ、健康づくり、友愛活動、社会奉仕、子どもの見守り、趣味・サークル活動等々。

会員数の減少が続いています。地域の皆さまのクラブに、一人でも多くの新規会員さんが増えますことを期待しております。



令和3年度単位老人クラブ数と会員数

(各年度4月1日現在) (単位:人)

支部名	クラブ数		会員数		令和3年度会員内訳	
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	男 性	女 性
峰 山	3	3	86	84	36	48
大 宮	5	5	149	121	46	75
網 野	27	21	586	487	166	321
丹 後	14	14	388	396	181	215
弥 栄	2	2	64	58	24	34
久 美 浜	35	33	615	542	243	299
合 計	86	78	1,888	1,688	696	992
前 年 比		△8		△200	△53	△147

令和3年度単位老人クラブの年齢別・男女別の構成

(単位:人)

支部名	性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	合 計
峰 山	男	0	0	11	6	10	7	2	36
	女	0	1	8	9	16	11	3	48
大 宮	男	0	6	3	14	13	6	4	46
	女	0	4	6	9	20	24	12	75
網 野	男	0	13	19	50	39	36	9	166
	女	6	12	42	67	97	61	36	321
丹 後	男	3	28	48	46	32	14	10	181
	女	1	15	49	45	49	32	24	215
弥 栄	男	0	0	1	4	10	2	7	24
	女	0	0	5	12	9	6	2	34
久 美 浜	男	5	15	43	51	65	38	26	243
	女	1	9	41	62	74	59	53	299
合 計	男	8	62	125	171	169	103	58	696
	女	8	41	151	204	265	193	130	992
	計	16	103	276	375	434	296	188	1,688

令和3年度 市老連会長表彰

谷岡さん、尾瀬さん、岸田さん、荻野さん、永濱さん



市老連では、永年にわたり老人クラブ活動にご尽力された方を支部からの推薦により表彰しています。今年度は網野支部旭浦島会の谷岡俊さん、同支部第一砂丘会の尾瀬直實さん、峰山支部五箇喜生会の岸田和夫さん、同支部荒汐会の荻野はつ子さん、大宮支部寿楽会の永濱治一郎さんの5名を表彰いたしました。

谷岡さん、尾瀬さんは共に平成24年度から単位老人クラブの会長に、また市老連の評議員としてお世話になり、谷岡さんにつきましては現在もなお、その役職に就かれておられます。

岸田さんは、単位クラブの会長等のほか、峰山支部の会計職にも就かれ、現在は五箇喜生会の顧問として今なお活躍されております。また、老人クラブの活動を活発にするため、室内での行事を考えたり、カラオケ歌集を作り会員に配布し歌声会を開催したり、ビデオ映画会などにも取り組まれております。

荻野さんは平成28年度から単位老人クラブの女性委員長、市老連女性委員会の支部副委員長として、また令和2年度から女性委員長として女性委員会の活動にご尽力をいただいております。さらに、荻野さんには平成29年10月に京都府で開催された全国老人クラブ大会で本市老連が披露した丹後王国「七姫物語」の羽衣天女の中で、狩人の「三右衛門」役を演じていただきました。

永濱さんは、平成23年度から現在も単位老人クラブ会長として活躍されており、地元の老人クラブではなくてはならない存在として会員さんから信頼されています。

今年度も新型コロナウイルスの影響により評議員会が中止となったため、支部長さんを通じて伝達、表彰状をお渡しいたしました。おめでとうございます。

貸し出します

令和2年度 「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」

視聴覚教材



単位老人クラブ、また支部での研修活動の教材としてご利用ください。

- 講義1 生活支援「地域支え合いにおける老人クラブへの期待について」
- 講義2 医療「上手な医療の受け方」
- 講義3 歯・口腔「歯・口腔の健康管理」
- 講義4 栄養「高齢者の栄養管理」
- 講義5 運動「老人クラブの運動による健康づくり・介護予防」

全国老人クラブ連合会では毎年、「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」を開催し、地域における健康づくり・介護予防活動や友愛活動を牽引するリーダーの養成を図っています。今年度は新型コロナウイルスの感染予防から講義内容を収録したDVDを作成し、全国の老人クラブ連合会に配布されました。内容は次の5つの講義で構成され、それぞれ約30分程度の時間にまとめられています。

令和3年度 評議員会

今年度も新型コロナにより書面での総会

令和3年に入り第4波となる新型コロナウイルスの感染が再拡大、また新たな変異ウイルスの蔓延などもあって、京都府においても第3回目の緊急事態宣言がこの5月に発出されました。こうしたことから、令和3年度の評議員会も昨年同様、書面での総会とさせていただきました。議案につきましては評議員の皆さんに議案書を送付し決議をしていただきました。

役員名簿

理事

役員人数13名

会長	森口 茂樹	丹後支部長
副会長	安田 俊夫	峰山支部長
副会長	荒木 通泰	大宮支部長
副会長	吉岡 崇	網野支部長
副会長	吉岡 弘隆	弥栄支部長
副会長	小國 芳直	久美浜支部長
副会長	梅田 重子	市老連女性委員長
理事	難波 澄雄	丹後副支部長
理事	三野 忠一	峰山副支部長
理事	永濱治一郎	大宮副支部長
理事	岡田繁太郎	網野副支部長
理事	梅田 重子	弥栄副支部長
理事	吉岡 光義	久美浜副支部長

評議員

評議員数18名

後藤 幸雄	五箇喜生会	峰山支部
久古 邦治	善王寺老松会	大宮支部
糸井 徳彰	三重寿楽会	大宮支部
芦田 幸夫	第一天寿会	網野支部
野村 正彦	第一砂丘会	網野支部
吉岡弘之輔	東大路浦島会	網野支部
宇野 貞夫	琴和会	網野支部
前田 和夫	浜詰松寿会	網野支部
岸本 勲	切畑長寿会	網野支部
溝尻 武	いつき会	丹後支部

監事

谷 良夫	古間西老クラブ	丹後支部
河戸 章	木橋シルバークラブ	弥栄支部
吉岡八重子	やさかシニアクラブ	弥栄支部
小林 憲彦	仲町区老人会	久美浜支部
安達 勇一	出角老人会	久美浜支部
西田 嘉一	芦原老人会	久美浜支部
木下 賢二	老分老人会	久美浜支部
和泉 徹	口馬地緑寿会	久美浜支部

女性委員会

後藤 幸雄	五箇喜生会	峰山支部
吉岡八重子	やさかシニアクラブ	弥栄支部

事務局

荻野はつ子	峰山支部委員長
矢谷 明美	峰山支部副委員長
川村いよ子	大宮支部委員長
本城 富恵	大宮支部副委員長
山崎 慶子	網野支部委員長
吉岡由紀子	網野支部副委員長
中江 純子	丹後支部委員長
澤田よし子	丹後支部副委員長
梅田 重子	弥栄支部委員長
吉岡 玲子	弥栄支部副委員長
小森 明美	久美浜支部委員長
小田 陽子	久美浜支部副委員長

事務局長 山崎 淳之

単位老人クラブ会長

峰山支部

五箇喜生会 後藤 幸雄
新町福寿会 安田 俊夫
荒山荒汐会 三野 忠一

大宮支部

奥大野長寿会 荒木 通泰
谷内延寿会 梅田 辰行
三重寿楽会 永濱治一郎
口大野恵美寿会 神者 栄
善王寺老松会 久古 邦治

網野支部

吉寿会(住吉) 野村 壽成
陵寿会(御陵) 田中 靖之
幸寿会(上小路) 吉岡 崇
松寿会(桃山) 鈴木 齊志
長寿会(長田) 岡田繁太郎
福寿会(福田) 梅田 豊則

丹後支部

第一天寿会(下岡) 芦田 幸夫
第二天寿会(下岡) 松江 賢一
第一砂丘会(北大路) 野村 正彦
第二砂丘会(北大路) 川浪 将義
港浦島会(浅茂川) 永島 重春
元町浦島会(浅茂川) 藤原 新典
旭浦島会(浅茂川) 谷岡 俊
東大路浦島会(浅茂川) 吉岡弘之輔
大昭西浦島会(浅茂川) 三浦主巳子
大昭東浦島会(浅茂川) 澤 恵一
栄浦島会(浅茂川) 齋藤 佳子
湖秀会(小浜) 小東伊之助
琴和会(掛津) 宇野 貞夫
浜詰松寿会(浜詰) 前田 和夫
切畑長寿会(切畑) 岸本 勲

古間東老人クラブ 森口 茂樹
古間西老人クラブ 谷 良夫
谷区老人クラブ 蒲田 均
東山老人クラブ 中江 純子
向地老人クラブ 宇都 佳裕
小泊老人クラブ 岡本 昌明

弥栄支部

成願寺老人クラブ 谷口 昌志
徳光長寿クラブ 東宇 義夫
大山老人クラブ 田宮 孝市
岩木老人クラブ 佐々木明男
たかのえびす会 尾瀬 崇
いっき会 溝尻 武
此代老人クラブ 久下 哲男
是安オールドメンバーズ 難波 澄雄

久美浜支部

木橋シルバークラブ 吉岡 弘隆
やさかシニアクラブ 梅田 重子

仲町老人会(仲よし会) 小林 憲彦
土居老人会(緑寿会) 大場 耕作
向町松江会 古嶋 義春
新町区新生会 石田 新作
神谷老人会 谷口 昇
口馬地緑寿会 和泉 徹
法沢クラブ 長尾 国顯
畑老人クラブ 田中 和雄
金谷老人クラブ 小幡 正子
高龍老人クラブ 大垣源太郎
出角老人クラブ 安達 勇一

須田 永楽会 戸出重兵衛
新庄老人クラブ 寺下 寿幸
橋爪老人クラブ 小森 雅明
海士老人会 仲原 毅
坂井老人会 岡田幾久雄
友重老人クラブ 砂越 政信
品田老人クラブ 小堀 賢
芦原老人会 西田 嘉一
安養寺老人クラブ 岡田 昂
野中老人クラブ 小幡 重雄
円寿会 野村 恒雄
長野坂谷クラブ 能勢 茂
女布老人会 小國 芳直
丸山老人クラブ 野村千津江
壺分老人クラブ 木下 賢二
田村老人会 野田 克己
甲山老人クラブ 杉本 陸男
神崎老人会 吉村 和之
浦明松寿会 森口 明穂
長柄老人会 富澤 幸代
鹿野老人クラブ 村上 清吉
湊宮老人クラブ 吉岡 光義



令和2年度京丹後市老人クラブ連合会収支決算書

令和2年4月1日(自)～令和3年3月31日(至)

【収入の部】
(単位：円)

科 目	予算額 (A)	収入済額 (B)	差引増減額 (B) - (A)	摘 要
1. 繰 越 金	656,656	656,656	0	前年度繰越金
2. 会 費	452,360	447,100	△ 5,260	5,260円×85単老＝
3. 市 補 助 金	6,874,096	5,956,993	△ 917,103	
市老連活動促進事業	329,936	327,776	△ 2,160	194,000円 + (72円×1,858人)＝
単 老 活 動 事 業	4,004,160	3,474,294	△ 529,866	46,560円×73単老 + 75,414円 (4単老)
特 別 事 業				
友愛訪問活動事業	60,000	0	△ 60,000	中止
世代間交流事業	60,000	0	△ 60,000	管内放課後児童クラブ訪問
健康づくり事業	520,000	520,000	0	グラウンドゴルフ等
啓発・広報広聴事業	520,000	415,420	△ 104,580	広報紙の発行
会員拡大・加入促進事業	0	0	0	
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金
市老連運営事業	180,000	19,503	△ 160,497	バス使用料
4. 市社協共同募金配分助成事業	290,000	290,000	0	赤い羽根共同募金配分助成
5. 府老連補助金	0	0	0	
6. 府老連負担金収入	541,800	535,500	△ 6,300	6,300円×85単老＝
7. 寄 付 金	0	0	0	
8. 雑 収 入	88	53,919	53,831	預金利息他
合 計	8,815,000	7,940,168	△ 874,832	

【支出の部】
(単位：円)

科 目	予算額 (A)	支出済額 (B)	差引増減額 (A) - (B)	摘 要
1. 事務局費	1,672,000	1,626,642	45,358	
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金 (1人分)
備 品 購 入 費	10,000	0	10,000	
消 耗 品 費	25,000	35,702	△ 10,702	用紙、ファイル等事務用品
通 信 運 搬 費	70,000	70,882	△ 882	電話、郵便料他
印 刷 製 本 費	70,000	54,940	15,060	コピー代等
委 託 料	45,000	45,100	△ 100	印刷機保守料
手 数 料	2,000	770	1,230	負担金等振込料他
使 用 料	210,000	198,480	11,520	市老連事務所使用料他
光 熱 水 費	15,000	8,628	6,372	事務所灯油代等
修 繕 費	10,000	0	10,000	
旅 費	15,000	12,140	2,860	事務局長会議等
2. 会 議 費	63,000	38,461	24,539	
理 事 会	10,000	1,300	8,700	費用弁償
評 議 員 会	20,000	3,360	16,640	費用弁償等
各 種 委 員 会	30,000	32,301	△ 2,301	費用弁償等
会 計 監 査 費	3,000	1,500	1,500	費用弁償
3. 活 動 費	692,000	200,220	491,780	
バ ス 借 上 料 等	542,000	58,510	483,490	府老連研修会・丹プロ事業参加等
活 動 費	100,000	121,710	△ 21,710	各種研修会費用弁償等
研 修 会 等 負 担 金	50,000	20,000	30,000	近畿ブロック事業等
4. 特別事業費	1,220,000	950,827	269,173	
友愛訪問活動事業	70,000	0	70,000	中止
世代間交流事業	70,000	10,065	59,935	峰山放課後児童クラブ訪問
健康づくり事業	530,000	525,342	4,658	市老連グラウンドゴルフ大会等
啓発・広報広聴事業	530,000	415,420	114,580	広報紙2回発行
会員拡大・加入促進事業	0	0	0	
会員加入促進事業	20,000	0	20,000	
5. 社協助成金事業	290,000	290,000	0	6支部配分
6. 府老連負担金	541,800	535,500	6,300	6,300円×85単老＝
7. 単老活動補助金	4,004,160	3,474,294	529,866	46,560円×73単老 + 75,414円 (4単老)
8. 予 備 費	332,040	0	332,040	
合 計	8,815,000	7,115,944	1,699,056	

収入支出残額
824,224円を
次年度に繰り
越す。

(4) 京都府老人クラブ大会

日 時：令和2年10月15日（木）

場 所：ホテルルビノ京都堀川

参 加：111名（本市老連5名）

内 容：〔第1部〕表彰式

京都府知事表彰 安田俊夫（峰山支部）

府老連会長表彰 吉岡 崇（網野支部）

吉岡弘陸（弥栄支部）

〔第2部〕講演会

テーマ「歌と津軽三味線で心も体もイキイキ」

講 師 女性津軽三味線ユニット 来世楽（らせら）氏

(5) 若手リーダー研修会

日 時：令和2年12月3日（木）

場 所：ハートピア京都

参 加：46名（本市老連3名）

内 容：ニュースポーツ（4種目）の講座と体験

**○市老連関係****【赤い羽根共同募金配分事業】**

各支部が京丹後市社会福祉協議会の補助金を受け、下記の事業を実施しました。

峰 山 支 部：親睦遠足（R2.11.27 東福寺・平等院と黄桜酒造）

大 宮 支 部：親睦遠足（R2.11.4 福知山城・明智光秀ミュージアム他）

網 野 支 部：輪投げ大会（R2.11.5）

研修講演会（R2.12.1 講師：笑福亭 忍笑 氏）

丹 後 支 部：輪投げ大会（R2.7.13）

グラウンドゴルフ大会（R2.10.20）

弥 栄 支 部：コロナ対策事業（非接触体温計、マスク等購入）

久美浜支部：グラウンドゴルフ大会（R2.9.28）

【京丹後市老人クラブ連合会長表彰の実施】

老人クラブの活動にご尽力された次の方を表彰いたしました。いつもなら評議員会の席上において表彰させていただいておりますが、今年度は新型コロナウイルスにより中止となったため、各支部長さんを通じて伝達いたしました。

被表彰者（敬称略）

後藤美智子（峰山支部）、村田成生（大宮支部）、久下哲男（丹後支部）

溝尻 武（丹後支部）、橋本清尚（久美浜支部）

〈6ページへ続く〉

(2) 啓発・広報広聴事業

機関紙「あじさい」は、会員相互の情報提供を図る重要な媒体です。新型コロナの影響により十分な活動ができなかったこともあり記事の少ない紙面となりましたが、会員さんからの投稿により年2回発行することができました。

○第22号：令和2年7月（2,000部）

○第23号：令和3年1月（2,000部）

(3) 友愛訪問活動事業

新型コロナウイルスが高齢者に与える影響が極めて重大であることから、今年度は介護施設等への訪問活動は中止しました。

(4) 世代間交流事業

新型コロナウイルス感染防止対策の自粛制限が少し緩められたタイミングに、峰山放課後児童クラブを訪問しました。女性委員会役員のための参加となりましたが、ワナゲをしたりして子どもたちと交流を深めました。

日 時：令和2年10月28日（水）

訪問先：峰山放課後児童クラブ

参加者：子どもたち45人、役員6人



2. その他の活動

○全老連関係

(1) 第49回全国老人クラブ大会（山形県開催）〔中止〕

日 時：令和2年11月17日（火）・18日（水）

場 所：やまぎん県民ホール・山形テルサ（山形市）

○府老連関係

(1) 丹後ブロック女性リーダー研修会

日 時：令和2年9月15日（火）

場 所：京都府立青少年海洋センター「マリーンピア」（宮津市）

参加者：56名（本市老連11名）

(2) 第10回丹後ブロック「グラウンドゴルフ交流大会」〔中止〕

日 時：令和2年10月28日（水）

場 所：滝グラウンドゴルフコース（与謝野町滝）

(3) 市町村老連リーダー研修会

日 時：令和2年8月28日（金）

場 所：ハートピア京都

参 加：88名（本市老連2名）

内 容：講演「転換期を迎えた老人クラブの活動とこれからの課題」

講師 元日本福祉大学福祉経営学部教授

元全老連評議員

中川 晴夫 氏

〈7ページへ続く〉

令和2年度活動報告

令和2年度の予算案等を審議していただく評議員会は、新型コロナウイルスのため開催することができず、委員の皆さまには書面による決議をお願いし、不安を抱えたままのスタートとなりました。

市老連の主要事業であるグラウンドゴルフ大会は例年どおり各支部からの代表24チーム(144人)が参加し何とか実施することができましたが、会員の皆さんに広く普及を図っている公式ワナゲの大会は市内での感染者数が増えたことから、急きょ開催を中止せざるを得なくなりました。

また、女性委員会が中心となり活動している友愛活動は、高齢・介護施設等に入居されている方への訪問を主としていることから感染防止のため中止となりましたが、子ども達との触れ合い活動である世代間交流事業は、小人数の役員の参加により実施いたしました。

この1年間、毎日、報道される感染者数の推移や病床数の使用率等に一喜一憂しながら、新しい社会生活の3密(密閉・密集・密接)回避に努め、一日も早い収束を願いつつ、感染防止を十分に図っての活動に取り組んできました。

1. 主な事業

(1) 健康づくり事業

前述のとおり市老連主催の事業として第7回市長杯グラウンドゴルフ大会は実施しましたが、公式ワナゲ大会は中止しました。

各支部でも、新型コロナにより例年どおりの事業が困難となったところもありましたが、少しでも会員の皆さまに喜んで頂けるよう、役員さん等にはご尽力を頂きました。

以下は事業の実施内容です。

【峰山支部】グラウンドゴルフ大会(R2.10.6)、ワナゲ大会(R3.3.11)

【大宮支部】グラウンドゴルフ大会(R2.10.12)

【網野支部】健康日帰り研修(R2.11.16)

【弥栄支部】グラウンドゴルフ大会(R2.9.23)

【丹後支部】歩こう会(R2.11.17)

【久美浜支部】ゲートボール大会(R3.1.8・R3.1.13)、ゲートボール初心者教室(R2.6.27~7.25)、輪投げ普及講習会(R2.7.30)

【市老連】第7回京丹後市長杯グラウンドゴルフ大会

日時：令和2年10月6日(火)

場所：永留中央運動公園(久美浜町)

参加：24チーム(144人)

公式ワナゲ大会〔中止〕

日時：令和2年12月8日(火)

場所：網野体育センター(網野町)

参加者：(36チーム、180人)



〈8ページへ続く〉

令和3年度京丹後市老人クラブ連合会収支予算書

令和3年4月1日(自)～令和4年3月31日(至)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減額 (A) - (B)	摘 要
1. 繰 越 金	824,224	656,656	167,568	前年度繰越金
2. 会 費	410,280	452,360	△ 42,080	5,260円×78単老＝
3. 市 補 助 金	6,479,216	6,874,096	△ 394,880	
市老連活動促進事業	315,536	329,936	△ 14,400	194,000円+(72円×1,688人)＝
単 老 活 動 事 業	3,631,680	4,004,160	△ 372,480	46,560円×78単老＝
特 別 事 業				
友愛訪問活動事業	60,000	60,000	0	管内介護施設訪問等
世代間交流事業	60,000	60,000	0	管内放課後児童クラブ訪問
健康づくり事業	540,000	520,000	20,000	グラウンドゴルフ等
啓発・広報広聴事業	500,000	520,000	△ 20,000	広報紙の発行
会員拡大・加入促進事業	0	0	0	令和2年度より中止
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務局員賃金
市老連運営事業	172,000	180,000	△ 8,000	バス使用料
4. 市社協共同募金配分助成事業	290,000	290,000	0	赤い羽根共同募金配分助成
5. 府老連補助金	0	0	0	
6. 府老連負担金収入	491,400	541,800	△ 50,400	6,300円×78単老＝
7. 寄 付 金	0	0	0	
8. 雑 収 入	80	88	△ 8	京銀普通利息他
合 計	8,495,200	8,815,000	△ 319,800	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減額 (A) - (B)	摘 要
1. 事務局費	1,602,000	1,672,000	△ 70,000	
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金
備品購入費	10,000	10,000	0	事務関連用品
消耗品費	50,000	25,000	25,000	事務用品、用紙他
通信運搬費	80,000	70,000	10,000	郵送料、電話料、他
印刷製本費	60,000	70,000	△ 10,000	コピー代等
委託料	50,000	45,000	5,000	印刷機保守料
手数料	2,000	2,000	0	振込料他
使用料	100,000	210,000	△ 110,000	老連事務所使用料他
光熱水費	15,000	15,000	0	事務所灯油代等
修繕費	10,000	10,000	0	事務機器類他
旅 費	25,000	15,000	10,000	事務局員等旅費
2. 会議費	73,000	63,000		
理事会	10,000	10,000	0	費用弁償等
評議員会	20,000	20,000	0	費用弁償等
各種委員会	40,000	30,000	10,000	費用弁償等
会計監査	3,000	3,000	0	費用弁償等
3. 活動費	716,000	692,000	24,000	
バス借上料	516,000	542,000	△ 26,000	府老連大会等
活動費	150,000	100,000	50,000	各種研修会費用弁償等
研修会等負担金	50,000	50,000	0	近畿及び丹後ブロック事業等
4. 特別事業費	1,220,000	1,220,000	0	
友愛訪問活動事業	70,000	70,000	0	
世代間交流事業	70,000	70,000	0	
健康づくり事業	550,000	530,000	20,000	市老連グラウンドゴルフ大会他
啓発・広報広聴事業	510,000	530,000	△ 20,000	広報紙2回発行
会員拡大・加入促進事業	0	0	0	令和2年度より中止
会員増強推進事業	20,000	20,000	0	郵便代
5. 社協助成金事業	290,000	290,000	0	6支部配分
6. 府老連負担金	491,400	541,800	△ 50,400	6,300円×78単老＝
7. 単老活動補助金	3,631,680	4,004,160	△ 372,480	46,560円×78単老＝
8. 予 備 費	471,120	332,040	139,080	
合 計	8,495,200	8,815,000	△ 319,800	

令和3年度事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでの社会生活を大きく変化させるものとなりました。感染防止としてのマスクの着用は日常化となり、コロナウイルスとの付き合い方も少しずつ分かってきましたが、以前のように人々が気軽に触れ合い、話し合い、楽しく生活できる環境はもう少し先のようです。

こうした中、コロナウイルスに対するワクチンが米国や英国等で開発され、日本でもこの3月からワクチンの接種がまず優先的に医療関係従事者から始まりました。そして、5月頃から65歳以上の高齢者を対象に、続いて16歳以上の方への接種が行われることになっています。新たな変異ウイルスが確認され、ワクチンの効果が気にはなるものの、コロナ収束へのゲームチェンジャーになってくれればと大きな期待を寄せるものです。

本年度の活動も、これまでどおり「健康・友愛・奉仕」を基本としながら、今しばらくは感染状況やワクチンの接種状況等を見ながら、事業・活動を進めていくことになります。

さて、高齢者人口は増加するものの、老人クラブへの加入者はいっこうに増えていません。クラブ数、会員数の減少は老人クラブの活動を進めるうえで大きな問題となっています。社会環境と時代背景が大きく変化する中であって、老人クラブに魅力がない、必要性を感じない等、その原因はこれまでから語りつくされていますが、本市老連におきましてもなかなか効果的な対策をうつことができてはいません。

会員の皆さまには常日頃から、身近におられる未加入の高齢者の皆さんに積極的に声をかけ、地道な勧誘活動を進めていただきたいと思います。

1. 市老連の主な事業

(1) 健康づくり事業

○ 市老連「第8回京丹後市長杯グラウンドゴルフ大会」

日 時：(未定) 場 所：(未定) 参 加：(未定)

○ 市老連「公式ワナゲ大会」

日 時：(未定) 場 所：(未定)

(2) 啓発・広報広聴事業

機関紙「あじさい」を発行し、クラブの活動状況を掲載することで情報の共有化を図ります。

(3) 友愛訪問活動事業

友愛訪問活動事業を進め、助け合い・支え合いの輪を広げていきます。

日 時：(未定) 訪問先：(未定)

(4) 世代間交流事業

未来を担うこども達との触れ合いの中で見守りをします。

日 時：(未定) 訪問先：(未定)

(5) 会員増強運動

老人クラブ会員1人ひとりが、身近な未加入者の勧誘を積極的に進めます。

2. 京都府老連の主な会議・事業等

○ 府老連女性若手委員会総会	R 3.4.26	京都市
○ 府老連若手委員会総会	R 3.4.28	京都市
○ 近畿ブロックリーダー研修会	R 3.6.10～11	和歌山県 (中止)
○ 市町村老連リーダー研修会	R 3.7.21	京都市
○ 女性リーダー研修会 (丹後ブロック)	R 3.9.15	舞鶴市
○ 第42回京都府老人クラブ大会	R 3.10.15	京都市
○ 若手委員会リーダー研修会	R 3.12.3	京都市

3. 丹後ブロック市町老連主催「グラウンドゴルフ交流大会」

日 時：(未定) 場 所：(未定) 参 加：(未定)

〈10ページへ続く〉

9月15日は「老人の日」



9月15日～21日までの1週間は「老人週間」

「老人の日・老人週間」は、国民の間で広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促すために制定され、期間中、福祉・医療関係団体が主唱して全国的なキャンペーンが展開されています。

老人クラブにおいても、「老人の日・老人週間」制定の趣旨を踏まえ、キャンペーンに呼応し、全国三大運動「健康・友愛・奉仕」の活動を通して社会参加への高齢者の意欲と姿勢を示して行きましょう。

具体的な 取組として

- (1) それぞれのクラブ（支部、単位クラブ）・地域の状況に合わせて、自主的に企画を立てて取り組む。
- (2) 出来る限り、9月15日から21日までの「老人週間」の間に実施する。
- (3) 会員以外の高齢者にも参加を呼びかけ、仲間づくりの拡大に努める。

活動内容

健康 活動

- いきいきクラブ体操・健康ウォーキング・シニアスポーツの実施
- 趣味・サークル活動の拡充、料理講習会・体力測定会の開催
- 高齢者医療や介護保険など制度・施策の学習 など

友愛 活動

- 関係機関と連携した集いの場づくり（サロンなど）
- 日常生活の困りごと支援（ゴミ出し、買い物等）
- 1人暮らしや高齢者世帯への安否確認・声掛け・友愛訪問 など

奉仕 活動

- 全国一斉「社会奉仕の日」（9月20日）の取り組み（下記参照）
- 公共施設や道路等の清掃・美化・緑化
- 資源回収・リサイクル活動
- 子ども見守りパトロール活動
- 伝承や世代間交流 など

9月20日は全国一斉「社会奉仕の日」

「老人週間」期間中の9月20日は全国一斉「社会奉仕の日」です。地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示すため、地域の緑化・美化・資源ごみのリサイクル等の活動を中心に、幅広いボランティア活動に取り組みましょう。



老人クラブを復活

久美浜支部 法沢クラブ 長尾 国顕

名前は「法沢クラブ」
ほうたく

思いを込めてクラブの歌も作りしました



法沢クラブの歌

作詞 法沢クラブ
作曲 西原あおみ

一 緑あふれる布袋野の
豊かな自然われらが誇り
そんな故郷いつまでも
老いも若きも励まし合って
みんな仲よく法沢クラブ

二 稲穂波うつ布袋野の
美味しいお米われらが誇り
そんな田畑をまもるため
健康長寿の村づくり
みんな元気で法沢クラブ

令和2年3月制定

布袋野は久美浜町の中央を縦断する川上谷川の源流にある集落で、冬季は通行止めとなるイザミ峠を越えると豊岡市奥野に通じます。

山紫水明とでもいうのでしょうか、美しい自然は私たちの誇りです。耕作放棄地も少なく、ここで作られるお米は、魚沼産のコシヒカリにも負けない美味しさです。こんな布袋野ですが、御多分に漏れず高齢化が進み、以前あった老人会も無くなりました。

この素晴らしい故郷を守るためには、集落に対する愛着が強く、集落機能の重要性についての認識も高い、高齢世代がまとまる必要があります。そのためにも、老人会を復活させようということになり、各隣組から一名づつ、五名の有志が発起人となり、令和元年十月より相談を繰り返し返しました。

老人会という名称では抵抗のある人もいるだろうと考え、名前は「法沢クラブ」としました。概ね六五歳以上の区民に呼びかけたところ、六三歳から八四歳までの賛同者が三四名集まり、翌年三月の設立総会にこぎ着けました。

名前の由来ですが、布袋野には法沢山という山があります。標高は六四四メートルで高さは、市内で四番目ですが、山頂からの眺望が大変素晴らしい山です。

隣の市野々には、京丹後市で一番高い六九七メートルの高竜寺ヶ岳があります。高竜寺ヶ岳は古来より熊野富士とも呼ばれる名峰ですが、周りに高い山が多く眺望は今一つだと思います。

その点法沢山は、但馬方面に高い山もなく、城崎から出石や日高はもちろん、遠く中国山地の山々まで見渡すことが出来ます。この素晴らしい山にちなんで、法沢クラブとしました。登山道も一応整備されていますので、みなさんもぜひ登ってみてください。

更に、法沢クラブが誰からも親しまれ、いつまでも続くようにとの思いで「クラブの歌」も作ることにしました。

歌詞には、「故郷をまもるため、老いも若きも励ましあって、健康長寿の村づくり」そんな思いを込めました。作曲は、中学校音楽科の西原あおみ先生にお願いしました。手前味噌になりますが、年寄りでも歌いやすい良い歌が出来たと思っています。この歌詞のとおり、みんな仲よく、いつまでも元気で長生きしたいものです。

投稿コーナー

天然の鳴き砂の浜
掛津 琴引浜讃歌

網野支部 宮本 肇 童

ミュージカル・サンド（鳴き砂）の砂浜は、世界中にたくさん発見されている。

しかし、琴引浜のように古くから注目され、記録に残った例はない。

琴引浜は、数ある世界のミュージカル・サンドの中でも、群を抜いて優れた特性をもっていたためであろう。

現在の琴引浜は、長さ約600メートル、最大幅50メートルの孤状をなし、ほぼ中央部には黒い岩盤が露出している。中央部やや東寄りには掛津川という小川が流れこんでいる。この川を地元では景気川と呼ぶ。海流の関係で、浜辺での流路が変化する。その方向で景気を占うのだ。

※元同志社大学工学部名誉教授

三輪茂雄先生「鳴き砂玄想」より

同志社大学工学部の名誉教授であつた三輪茂雄先生は、昭和50年代にたびたび掛津琴引浜を訪ねられ、

琴引浜の鳴き砂が貴重な天然資源であり、その保護活動の大切さを、広く地区民や行政機関にも訴え続けられました。

また、戦国時代の武将で丹後・田辺城主、細川幽斎（1534～1600）が、玄旨法印と号して、その狂歌に琴引の名を残しています。

根上がりの 松に五色の 糸かけ津

琴引遊ぶ 三津の浦浜

〔丹後府志〕

これは、この地一帯、三津の浦から遊の浦、掛津浦、太鼓浜、琴引浜、根上がりの松、五色浜とつづきの処なので、その名勝を詠み入れたものです。

詩人と謝野鉄幹（寛）、晶子夫妻も、昭和7年（1932）、山陰の旅の折りに、琴引浜を訪ねて句を残しています。

たのしみを 押えかねたる 汝ならん

行けば音たつ 琴引の浜 （鉄幹）



松三本 この蔭に来る喜びも

共に音となれ 琴引の浜 （晶子）

このように琴引浜は、日本海岸の名勝として古くから数々の歌に詠まれ、多くの人々に親しまれてきています。

その琴引浜の鳴き砂にも、絶滅の危機にひんする大惨事がふりかかっていたことがあります。それは、平成9年（1997）1月早々に、北陸沖で座礁沈没したロシアの大型タンカーから流れ出た重油流出事故です。

この事故のため、丹後半島一帯にも大量の重油の塊が流れ着いて大きな被害を受けましたが、琴引浜の鳴き砂も全く鳴かない瀕死の被害を受けてしまいました。

約半年に及ぶ地域住民、そして全国各地のボランティア、有志の方々の協力によって、必死の重油撤去作業が続けられ、やっと元通りの美しい鳴き砂の浜にもどることができました。

そのほか、度々の台風被害も地域住民、有志の方々の継続した奉仕作業により美しい砂浜が守られて、平成19年（2007）に名勝・国の天然記念物の指定を受けることができました。

令和2年に全国に広がった新型コロナウイルスの災いを受けて、毎年6月に開催されていた、琴引浜の漂流ごみが入場券になるというユニークな発想の「琴引浜鳴き砂コンサート」も中止になり、夏シーズンの海水浴客の入り込み制限もされたことなど残念なことで

すが、地元の海蔵寺では毎年7月23日、夏シーズンの始まりに琴引浜鳴き砂清浄保全と海難事故の安全を祈願して、「琴引浜鳴き砂観音供養会」を営んでいます。

そうしたことに因んで、「琴引浜 鳴き砂讃歌」を自作しました。

「琴引浜 鳴き砂讃歌」

ゆるやかな 潮の流れ
おだやかな 波のうねり
冷寒の うらにしに耐え
早春の陽光を浴びて
柔らかな 琴音をかなでる
春の琴引浜

炎天灼熱の太陽に
ほとばしる エネルギ―
全身を燃えたぎらせ
昼夜快音をひびかせて
万来の水客をもてなす
夏の琴引浜

ふりそぐ 天空の夜露
月光にきらめきながら
夜のとばりに 身を休め
ひっそりと 鳴りをひそめて
やがて来る 寒季に備える
秋の琴引浜

荒れふぶく風雪
逆巻き 吠える白波
打ち上げられ 引き込まれ



おさまることなき激浪に
身を清めつつ 春を待つ
冬の琴引浜

(おわりに)

地元の琴引浜をはじめ日本全国各地の自然環境が美しく守られること、そして新型コロナウイルスの一日も早い収束を祈って止みません。

義母『あっぱれ99歳』

丹後支部 森 口 一子

令和3年3月19日、義母が満99歳の白寿になりました。

たまには物忘れや、とんちんかんなことを言ったりもしますが、ボケているとか、認知症という程のこともありません。

昔のことを今のこのように言ってみたり、誰かが、今日来て一緒に何処かに行ってきたとか言い始めると、笑いながら「今日は、『あきば』に行つとつたし、そんな所にはいけませんよ、うたた寝して夢でもみたんだろうで」と言う。「そうだったあろうか？」と大笑い、できるだけ叱ったり、正したりせずに笑いでごまかし機嫌をとって気分良く過ごして頂くよう心がけて見守っております。きれいごとではなく認知症になられたり、私と喧嘩をして、お互いにいやな思いをしない方が気分良く過ごせると思っています。足の爪を切る時は、洗面器にお湯とバブを入れ足をつけてもらい、その間に手の爪を整え、マニキュアをしてあげると「おしゃれをしてもらった!!」と、とても喜んでくれます。私のモットーは、昔のいやなことはちよつと横へ置いておき、現在を気分良く……と腹をたてないようになっています。私はきれいごとではなく、腹がたったり、頭にきたら、主人や娘や友人に愚痴を言ったり、主人の妹さんに「最近お義母さん、何に怒っているのか機嫌が悪くて困ってしまう!!」なんて聞いてもらい、お義母さんの前ではいつでもおり気分良く過ごして頂いています。朝食は娘が用意してくれ、薬を飲んだかは主人が確認してくれ、私は夕食の用意をし、隠居に食事をもつて行き、一時間程度食べ終わりの後片付けを済ませて帰って来ます。お昼はほつてあります。食べたければ何かつまめばいいし、余りかまい過ぎて私が疲れてしまったら長続きしません「そんな食べべ言われても、いごかんで腹が減らん」と、叱られたくありませんので。せっかく99歳になったのですから、目指せ『百歳』と思いながらお世話させて頂いています。



会員証で温泉入浴料が割引に

老人クラブ会員の皆さまに発行している「会員証」を下記の施設の受付で提示すれば入浴料が割引されます。温泉施設に行く時は「会員証」の携帯をお忘れなく。老人クラブを退会された場合は、速やかに「会員証」を単老クラブ会長さん又は地域の支部長さんに返却ください。



温泉施設に行く時は「会員証」の携帯をお忘れなく

「会員証」優待割引温泉施設

令和3年5月1日現在

*なお、みなと悠悠につきましては現在、外湯（日帰り入浴）の利用が当分の間、中止となっています。再開の確認につきましては、直接施設へ問い合わせてください。

大宮町 セントラルホテル京丹後 小町の湯

通常料金 700円

割引後料金 **500円**

問合せ ☎ 68-1122



網野町 浅茂川温泉 静の里

通常料金 600円

割引後料金 **400円**

問合せ ☎ 72-4126



網野町 夕日ヶ浦温泉 花ゆうみ

通常料金 700円

割引後料金 **300円**

問合せ ☎ 74-1306



弥栄町 弥栄あしぎぬ温泉

通常料金 600円

割引後料金 **400円**

問合せ ☎ 65-2000



丹後町 宇川温泉 よし野の里

通常料金 600円

割引後料金 **400円**

問合せ ☎ 76-1000



丹後町 丹後温泉 はしうど荘

通常料金 500円

割引後料金 **250円**

問合せ ☎ 75-2212



久美浜町 久美浜温泉 湯元館

通常料金 600円

割引後料金 **400円**

問合せ ☎ 83-1071



久美浜町 みなと悠悠

通常料金 600円

割引後料金 **400円**

問合せ ☎ 83-2329



久美浜町 碧翠御苑

通常料金 1,000円

割引後料金 **500円**

問合せ ☎ 83-0355



編集後記

「新型コロナ禍」いつまで

内閣府は6月4日、新型コロナウイルス感染症の生活への影響を尋ねたインターネット調査で、回答者の7割超が「コロナ疲れ」を感じているとの結果を公表した。繰り返される緊急事態宣言による自粛要請で友人との食事や旅行などの楽しみが制限されたり、感染への不安感を抱いたりするなど多くの人がストレスをため込んでいる現状が浮かんた。（6月5日の新聞記事より）

私も毎年の秋頃に、友人と旅行に出かけることが楽しみの一つであるが、昨年は中止となり今年はどうなることか、少々ストレスを感じている。

流行を収束に向かわせるためには、集団免疫が必要であるが、ようやく順番がきて高齢者へのワクチン接種が始まった。だが、64歳以下の一般接種の見通しは、まだ完全には準備できていないようである。

当面は、一日も早い収束を願って、一人ひとりが、うつらない、うつさない行動を徹底するしかない。好き勝手な行動は今しばらく辛抱・辛抱。

6月7日

（安田 記）

編集委員長 安田 俊夫
編集委員 永濱治一郎

岡田繁太郎 梅田 重子
難波 澄雄 吉岡 光義

随時、原稿を募集しています。

「あじさい」では、会員皆様からのお声をお届けする投稿コーナーを設けています。俳句や短歌、写真、近況報告、身近な出来事、感じた事など何でも結構です。原稿は各支部長が市老連事務局へ。